

町政を問う!



新田 健介 議員

小中学校の 空調整備について

問 平成30年9月議会では、現在のところ空調設備が未設置である小中学校への整備については前向きに検討するとのことであったが、あれから数カ月が経過し、いつ頃に設置を完了させる予定になっているのか。

答 文部科学省より、平成30年度補正予算として「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」が示され、これにより、本年度中に事業着手が可能となった。よって、2019年の6月までに稼働させる計画としている。

病院事業の現状について

問 平成30年9月の定例会後に

全員協議会が開催され、コンサルタントから病院事業局の現状説明があり、赤字額も大きく、かなり切迫した状況にあるとの報告があった。

これは、住民にきちんと説明すべきであると考えているが、どのような認識を持っているのか。そして、今後、どのように説明会などを開いて町民に周知させていく考えなのか。

答 今年度中を目標に改革案やスケジュール案を作成し、町民の皆様への説明の時期や方法についてもお示しできるよう、コンサルタントである㈱日本経営と協議を重ねている。

大島大橋への 外国船衝突事故について

問 今回の事故で住民は多大な被害を被ったが、その補償のあり方をどのように考えているのか。

答 今回の事故は、すべての住民が大きな被害を被ったと思っており、加害企業は全住民に対

し、誠意ある対応を行う責務があると考えている。

問 今後、伊保田港以外の場所にもカーフェリーの船着き場を整備することなどは考えているのか。

答 新たに整備するとなると莫大な費用や関係機関との調整、維持管理費等、多くの問題がある。

現在の伊保田港において、より大型のフェリーが着岸可能となるよう、引き続き要望していく必要があると考えている。

問 小中学校の給食について、事故後、約1か月間、パンを主食とする簡素なメニューが続いた。

11月も下旬になり、ようやくカップスープなどの提供も始まったが、何故、もっと早くから改善できなかったのか。

答 事故後、パンを主食とした簡素な給食が続くことへのメニュー改善を協議したものの、200円を上限とした食材追加の調整が11月中旬になったことに加え、食材発注が4,000食以上にまとめた形での取り扱いになり、その調整に時間がかかってしまったことが、対応が遅れた要因である。



カップスープの差し入れ (明新小学校)